



FAQ

資格認定者向け資料

## › LESS BARRIERS, MORE OPPORTUNITIES

ITIL® v3 ファンデーションが、  
新たにITIL® 4 の上位コース受験  
前提条件として認められます。

## ITIL®v3の基盤知識を元に、ITIL®4の上位認定を目指しませんか？

2024年11月より、ITIL v3の認定資格保有者はITIL 4 ファンデーションを取得せずにITIL4の上位コース受講が可能となりました。

### 1. ITIL®v3 ファンデーションがITIL®4の上位コースの前提条件として受け入れられたのはなぜですか？

既にITIL v3の知識や経験を持っている従業員が多くいる企業において、ITIL4レベルの知識とITIL v3レベルの知識のギャップを埋めることが求められています。この変更は、企業と認定資格保有者がITIL4上位コースを受講する際の負担を減らし、ITIL4の提供する最新ナレッジへのアクセスを容易にします。もしITIL v3 ファンデーション認定証がない場合でも、有効なITIL v3の上位資格の認定証を提出する事でITIL4の上位コースへの可能性を広げる事が可能です。

### 2. この変更にはどのような利点がありますか？

ITIL4 ファンデーションをバイパスし、自分の役割とキャリア目標に最も適したい上位コース認定に焦点を当てることで、学習時間を節約できます。これにより、既存のスキルを基に最新のITサービス管理手法を開発し、あなたのキャリアと組織の改善をより迅速に進める機会が得られます。

### 3. これは、ITIL®4がITIL®v3とあまり変わらないということですか？

ITIL4は、ITIL v3の基本原則と実践的な知識を基盤としていますが、現代のITの課題に対処するための新しい概念を導入しています。ITIL4には、バリューチェーン、アジャイル、DevOps、デジタルトランスフォーメーション、その他のベストプラクティスなど最新のプラクティスが組み込まれていますが、ゼロから始める必要はありません。特に、職場環境で既にITIL4が提供するプラクティスを活用している場合、ITIL v3の知識と経験を進化させ、新しいITIL4へと拡張することで、今日の複雑なIT環境をより効果的に管理し競争力を維持することができます。

### 4. ITIL®v3と比べてITIL®4は概念的だと聞きましたが、どういう意味ですか？

ITIL4は、従うべき原則、バリューチェーン、アジャイル、DevOps、クラウドサービス、情報セキュリティ、自動化などの主要な概念を組み込むことにより、ITIL v3の実用的な側面を強化しています。概念や理論だけでなく、ITIL v3で習得した実践的な焦点を維持しながら、新しいテクノロジートレンドに適応することの重要性を強調しています。さらに、ITIL4プラクティス認定と、改訂された34のプラクティスガイドの導入により、プロフェッショナル人材は専門的な実践領域をさらに探求し、実践的で将来に備えるための絞ったスキルを習得できます。

このv3資格保有者へのアプローチにより、ITIL4 マネージングプロフェッショナル、ITIL4 ストラテジックリーダー、ITIL4 プラクティスマネージャー、ITIL4 マスターなどの権威ある称号への道をより短時間に進めることができます。ITIL4 ファンデーションをバイパスすることで、キャリアに最も役立つ認定資格に直接フォーカスし、サービス管理とリーダーシップの役割において新しい機会を開くことができます。

### 5. ITIL®4上位コースへの準備ができているか、どうすればわかりますか？

ITIL v3 ファンデーションまたはITIL v3認定を保持しており、これらの原則を適用する知識と実践的な経験がある場合は、あなたはすでに強固な基盤を持っており、ITIL4の上位コースに進む準備ができています。これらの上位コースは、ITサービス管理の最新のトレンドとプラクティスを統合しながら、あなたの知識と経験を構築するのに役立ちます。このアプローチにより、専門知識を向上させ、最新の進歩を常に把握することができます。

## 6. ITIL®4 認定を取得しないことを選択した場合はどうなりますか？

ITIL 4 に進まないという選択は、急速に進化するIT環境における重要な更新やイノベーションを見逃すこと、また個別技術が顧客価値に繋がらないことを意味する可能性があります。ITIL 4 は現代の課題に対処し、さまざまなエマージングテクノロジーを組織としてのケイパビリティとして作りあげて価値を創造します。これらの認定資格をスキルセットに統合することは、競争力を維持し、組織の成功に貢献するために不可欠です。

## 7. ITIL 4 の上位コースを始めるにはどうすればいいですか？

ITIL v3 ファンデーションまたはITIL v3認定資格をお持ちの場合は、キャリア目標に沿ったITIL 4の上位コースを探索できます。詳細については、当社のWebサイトにアクセスし、認定の次の段階に適したものを見つけてください。

## 8. このオファーの対象となるのは、どの ITIL 4 の上位レベルの認定資格ですか？

日本語で受験可能：

- ITIL®4 Specialist: Create, Deliver and Support (ITIL®4スペシャリスト 作成、提供およびサポート)
- ITIL®4 Specialist: Drive Stakeholder Value (ITIL®4スペシャリスト 利害関係者の価値を主導)
- ITIL®4 Specialist: High-Velocity IT (ITIL®4スペシャリスト ハイペロシティIT)
- ITIL®4 Strategist: Direct, Plan and Improve (ITIL®4ストラテジスト 方向付け・計画および改善)
- ITIL®4 Leader: Digital and IT Strategy (ITIL®4リーダー デジタル&ITストラテジー)
- ITIL®4 Specialist: Monitor, Support and Fulfil (ITIL®4スペシャリスト モニター、サポート&フルフィル)
- ITIL®4 Practitioner: Incident Management (ITIL®4プラクティショナー インシデント管理)
- ITIL®4 Practitioner: Monitoring and Event Management (ITIL®4プラクティショナー モニタリングおよびイベント管理)
- ITIL®4 Practitioner: Problem Management (ITIL®4プラクティショナー 問題管理)
- ITIL®4 Practitioner: Service Request Management (ITIL®4プラクティショナー サービス要求管理)
- ITIL®4 Practitioner: Service Desk (ITIL®4プラクティショナー サービスデスク)

英語のみで受験可能（2024年11月時点）

- ITIL®4 Specialist: Plan, Implement and Control
- ITIL®4 Practitioner: IT Asset Management
- ITIL®4 Practitioner: Change Enablement
- ITIL®4 Practitioner: Deployment Management
- ITIL®4 Practitioner: Release Management
- ITIL®4 Practitioner: Service Configuration Management
- ITIL®4 Specialist: Collaborate, Assure and Improve
- ITIL®4 Practitioner: Relationship Management
- ITIL®4 Practitioner: Supplier Management
- ITIL®4 Practitioner: Service Level Management
- ITIL®4 Practitioner: Continual Improvement
- ITIL®4 Practitioner: Information Security Management
- ITIL®4 Specialist: Acquiring and Managing Cloud Services
- ITIL®4 Specialist: Sustainability in Digital and IT
- ITIL®4 Specialist: IT Asset Management
- ITIL®4 Specialist: Business Relationship Management
- ITIL®4 How to Implement

## 9. ITIL 4 ファンデーション および上位モジュール バンドルの期間限定オファーを利用するにはどうすればよいですか？

ITIL v3ファンデーション または有効なITIL v3認定をお持ちで、ITIL4 への取り組みを開始したい場合は、認定研修事業者にご相談ください。当社主導の2025年3月末期限のITIL v3保有者向けの特別バンドルオファーは、認定研修事業者を通じてのみ利用できます。

## 10. V3の認定証を保持していますが認定証が見つかりません。どうすればよいですか？

ITIL v3認定証を取得した試験機関によって、異なる対応が必要です。ピープルサートを通じてV3認定証を取得された場合、取得時に登録したメールアドレスでピープルサートのアカウントにログインし、認定証を取得してください。ログインのメールアドレスを忘れてしまった場合や、勤務先のアドレスが変更になった場合は、カスタマーサービスまでお問合せください。（customerservice@peoplecert.org）

ピープルサート以外の試験機関を通じてV3認定証を取得された場合、試験情報の受け渡しの際、EU一般データ保護規則に基づき本人様の同意が必要となります。手続きについてカスタマーサービスまでご連絡ください。

詳しくは、ピープルサートでアカウント取得後、[https://peoplecert.jp/profile\\_process.html#sub-2-1](https://peoplecert.jp/profile_process.html#sub-2-1)より、「事前要件として認定証・確認証等の提出を求められる時」をご参考下さい。

## 11. どのような受験方法がありますか？

社のWebベース試験ドライバーを利用したオンライン受験のみとなります。プロメトリック会場試験・研修会社での紙ベースの試験など、試験会場での受験はプロモーション対象外です。日本語スピーカーの試験監督員・カスタマーサービスエージェントが、ブラウザベースでのオンライン受験に必要な準備についてサポートいたします。